

自治体名	神奈川県 寒川町
------	----------

女性の健康づくり対策の概要

① 成人の健康診査事業

18歳から39歳以下の忙しく、健診機会の少ない女性に対して年間6回成人の健康診査事業として基本的な健康診査項目及び歯科健診を実施。なお、検査結果に異常が認められる者には精密検査の受診勧奨や各種健康教室への案内通知等で健康増進に努めている。

② 骨密度測定

20歳以上の方に超音波による測定、栄養・運動等の事後指導や食生活改善推進団体の協力によりカルシウムがたくさん摂れる試食の提供を年間6回実施し、自身の骨の状態を把握し骨粗しょう症の予防を図り健康自立への意識を向上させる。

自治体の特徴

本町は、神奈川県中央部を流れる相模川の河口から上流約6kmの左岸に位置し、湘南の一角を占めています。町域面積は13.42km²で東西2.9km、南北5.5kmと南北に長く、首都圏50km・横浜30km圏にあり、東は藤沢市及び小出川を隔てて茅ヶ崎市に、北は海老名市にそれぞれ接しています。

人口構成（H21.10.1現在）

	総数	男	女
人	47,583	24,276	23,307
割合(%)	100	51	49

15歳未満	6,696	3,451	3,245
15～64歳	31,729	16,495	15,234
65歳以上	5,831	2,987	2,844
75歳以上	2,541	1,142	1,399
85歳以上	786	201	585

女性に関する健康課題

- 平成20年度に実施した成人の健康診査によると総受診者数の約7割が30歳代の女性でその内の1割に肥満や脂質異常がみられる。その一方20歳代の女性の約5割に貧血傾向がみられた。結婚、出産、育児期間における女性のライフステージにおける安定的な心身の健康維持、若い女性のやせや更年期におけるメタボリック予防に関して栄養、食、歯、運動などに係る啓発など女性をターゲットとした健康づくりは非常に重要である。
- これまでに実施した骨密度測定の受診平均年齢は、62歳で70歳代も少数みられる。また、基準値以下も受診者の1割の傾向を示している。日常の生活に対する運動不足や、転倒予防、歩くことへの不安や確認のため健康運動指導士による教育・助言指導を実施。さらに骨を育てる食事の試食を提供し、カルシウムがたくさん摂れるようなバランスの良い食生活の調理方法や情報の提供を継続する。

事業費（千円）

(1) 女性の健康づくりに関する事業（総額）	4,880
(2) 報告事業（再掲）	4,880

事業名	成人の健康診査事業 骨密度測定
分野	<input type="checkbox"/> 健康教育 <input checked="" type="checkbox"/> 健康手帳の交付 <input checked="" type="checkbox"/> 健康相談 <input checked="" type="checkbox"/> 知識の普及 <input checked="" type="checkbox"/> 啓発普及
事業費（千円）	4, 8 8 0

事業目的

- ① 18歳から39歳以下の女性の健康づくり
自己の健康度を把握し、生活習慣病の要因（食生活・喫煙）等を改善し健康な生活ができることを目的とする。
- ② 20歳以上の中高年期の女性
早期に骨量減少を発見し骨粗しょう症の予防に役立つ栄養、運動の啓発を行うことを目的とする。

事業対象

- ① 18歳から39歳以下の女性
- ② 20歳以上の中高年期の女性

事業実施体制・展開

- ① 年間6回の委託事業（6回のうち1回は休日に実施）
問診、身体測定、血圧測定、尿検査、血液化学検査、食生活相談、体脂肪率測定、歯科健診、ブラッシング指導
- ② 年間6回の委託事業
超音波による骨密度測定、健康運動士による結果説明と助言、食生活改善推進団体による試食

事業目標・評価項目 及び その結果

- ① 対象者の多くが受診することにより疾病予防になるため、受診者数を対象の5%に目標の設定する。
20歳代、30歳代には個別通知で受診勧奨を図っているため、目標の5%を上回る6%に達している。
受診することにより、健康には欠かせないかかりつけの歯科医をもつ傾向が高くなっている。
- ② 加齢やホルモンなどの代謝のバランスが崩れる骨の密度が低下する中高年の女性に運動不足や食事バランスの重要性を意識してもらえよう支援していく。

事業の工夫点

- ① 受診率を伸ばすために個人通知や各種教室におけるPR
- ② 転倒予防のためのゆるやかな体操(運動)を取り入れる。

事業の効果についての評価・考察

- ① 特定健康診査の対象になる前の年代での意識づけとして必要であり、早い段階で改善につながれば病気の危険度が減少する。
- ② 1年に1回の骨密度測定の定着。

今後の課題

町の財政が非常に厳しい状況にあるので、事業の継続をどう実施すればよいか問題で、健診回数や、自己負担額の見直しが必要である。

ホームページ	http://www.town.samukawa.kanagawa.jp
照会先	寒川町 健康福祉部 健康課 健康づくり担当 0467-74-1111

事業評価	(自己評価)	
① 活動内容	5	町単独事業
② 独創性	4	地域の活動力を束ね、食生活改善推進団体との連携を図り効果は期待できる。
③ 普遍性	3	自身の健康意識が図れる
④ 将来性	3	財政状況により検討
⑤ 効果度	4	データの経過管理ができる
⑥ 信頼度	4	委託事業者と行政との協議、連絡が密である

